



ケンブンスイッチ

6月号



命に関わることもある食物アレルギー情報。「みんなのピクト」が見える化して解決します。

食物アレルギーのある方は、日々の買物等で食品のラベルに注意を払っていることでしょう。消費者庁が定めた28品目の食物アレルギー物質は、現行の表示法では文字表示が義務付けられていますが、文字が小さくて見にくかったり、日本語が読めない方には伝わらないおそれがありました。また、これまでも食品のピクトグラムはありましたが、原材料の想起や視認性に課題がありました。そこで、東京電機大学矢口教授(人間工学)監修の下、延べ1000名以上のユーザーテストによる評価に基づき、ユニバーサルデザインに対応したピクトグラム「みんなのピクト」を、UCDAと電通が共同開発しました。この「みんなのピクト」は、食品パッケージに限らず、飲食店のメニュー表示、ウェブページ、店舗のサインプレート、給食や病院の献立表など、さまざまな場所や用途で使用することができます。また、指すだけでアレルギーチェックができる「コミュニケーションシート」もあり、外国人旅行者等が飲食店やお土産店で利用することもできます。これにより、食物アレルギーを持つ人だけでなく、ビーガンやハラールなど食事に制約のある旅行者等も安心して食事をたのしめるようになると期待されています。「みんなのピクト」の活用をお考えの方は、「UCDAの窓口」である

研文社にご相談ください。ワンストップでご要望に沿った制作物を提案させていただきます。

■みんなのピクト

第三者認証を取得した唯一のピクトグラム(UCDA)
https://ucda.jp/research/minnano_picto.html



■アレルギーコミュニケーションシート

〈英語/中国語簡体/韓国語/日本語〉(消費者庁)
https://www.caa.go.jp/en/policy/food_labeling/



ピクトを指してコミュニケーション

(Japanese) JAPAN'S FOOD LABELLING SYSTEM